

全国の塾経営者が教育論

青木経営
フォーラム

盛岡中央 高附属中 江藤さん(教育コンサル) 特別講演

全国の学習塾や私立学校の経営者らが参加した第49回青木経営フォーラム in 盛岡(エース教育総合研究所主催)は10、11の両日、盛岡市の盛岡中央高校附属中学校(千葉研二校長)などで開かれた。10日は同中で特別教育セミナーが開かれ、教育コンサルタントの江藤真規さん(東京都・サイタコーディネーション代表)が「子どもの資質を伸ばす教育とは」と題して特別講演した。

北海道から沖縄まで格差させた経験を持つ。の塾経営者ら約60人が参加。同中保護者・教職員ら約40人も聴講した。江藤さんは、東京大大学院教育学研究科修士課程修了。2人の娘の中学受験を経て、2人とも東京大へ現役合格した。江藤さんは、子どもは学校・家庭・地域(民間教育)の中で成長し、それぞれで完結するのはなく、学校や塾で学んできたことを家庭でアウトプット(出力)する時間を作るのが大事と言った。子どもの



教育コンサルタントの江藤真規さんを講師に、盛岡中央高・附属中で開かれた第49回青木経営フォーラム特別講演会

資質を伸ばすためにのアプローチが必要。は、異なる3領域から親の声がけて、子ども

の学びはよりの豊かになつていくと説いた。求められる「21世紀型スキル」として、▽創造性とイノベーション(クリエイティブイ)▽批判的思考と問題解決(クリティカル・シンキング)▽コミュニケーション▽コラボレーションの「4つのC(シー)」が注目されていると解説。この「4C」は、子どもとの会話の中で問いを投げかけるなど、家庭でも質を向上させることができる。大切なのはまず動いてみる。私たちが大人がつながり合い、学び合うこと」と強調した。続いて、新渡戸基金理事長の藤井茂さんが「私塾教育家 新渡戸

稲造と「武士道」文芸評論家の吉見正信さんが「天才詩人・童話作家」教師 宮沢賢治とその群像」の演題で講演した。

参加者は、今年4月に新設された同中の校舎を見学。11日は、学校法人龍澤学園(龍澤

正美理事長)が運営する盛岡市内の学習塾で経営実践セミナーを受講した。同フォーラムは年2回開催。エース教育総合研究所(横浜市)の青木清理事長(82)は「東北の一都市にある

龍澤学園グループが、

世界の20校以上と姉妹校提携し、難関大学合格など、実績を出していることに経営者の教育への情熱を感じる。関東の塾業界からも関心が高く、多くのことを学びたい」と話していた。